



第42号
 令和7年2月27日
 発行
 熊本市北区
 高平 2-20-35
 曹洞宗 浄国寺
 編集者
 中山 義昭



令和七年 春季彼岸会法要

先代住職 慈明忌(十七回忌)供養

三月二十四日(月)11時。本年も縮小して、開催致します。

彼岸法要は、昨年と同様の形での実施と致します。本年は、先代住職 七世 無関道全大和尚(中山道全)の十七回忌になります。先住忌も併せて勤めます。コロナは現在もそれほど減っていません。参詣者の人数は、今回は、50名に限らせて頂きます。お詣りを希望される方は、お寺まで申込みの電話を入れて下さい(096-344-7614 先着順)。

コロナは、現在も流行しています。さらにインフルエンザもA、Bともに広がっています。今回も参加人数も50名に限定して、参加の連絡を頂いた上で彼岸の法要を開催しようと思っています。

供養だけはして欲しい方は、これも先程 書きましたが、供養はしてほしいけど、当日に所用が入っている、送迎してもらえない等、予め欠席が分かっている方もご連絡下さい。当日法要の席で先祖様の戒名等の読込を行い供養させて頂きます。

この寺報を見て、参加しようと思われの方は、お電話ください。その際、名前は姓だけでなく全とお伝え下さい(同姓の方が結構いらっしやいます)。一世帯あたりの参加人数も教えてください。先着順

供養料(お布施)は(持参でも、郵送、振込でも構いません。法要当日に間に合わなくても、ご連絡戴ければ読み込んで供養を致します。特別な作法は決めておりません。前もって持参される方もいらっしやいます。それも叶わない方は、郵便振込等も可能です。ご相談ください。

「行きたいけど、当日都合がつかない。体調が良くないし移動手段もない」という方は、同様にお電話ください。その際、できれば供養を希望されるご先祖様の お名前を伝えて頂くと読込ができます。

お彼岸って何？

以前も書きましたが、「お彼岸」とは読みの通り「彼の岸」向こう岸」です。どこの向こう側かと言えば、我々が今住んでいる「此の世界」の向こう岸です。そして、我々の住む世界は、娑婆(シャバ)忍土と訳されます(言い苦しみの世界です。そして、苦しみが解放された世界が涅槃(ニルヴァーナ)と言います、ここが向こう岸つまり彼岸です。お釈迦様の教えでは「一切衆生悉有仏性」即ち、

早いもので、今年先代住職の十七回忌になります。最初に先住忌を務め、次に春彼岸の壇信徒総供養を行います。しかし、コロナ前と同じ形に参詣者を受け入れると数も百名を超えますし、当寺の壇信徒の方も高齢化してきました。感染の可能性も高くなります。年に2回くらいは、お寺に足を運んで貰い、供養をする気持ちを大事にしたいのですが、安全のため、人数の制限を設けました。電話の手間はありますが、何卒、ご理解頂きます様お願い致します。

お彼岸って何？

以前も書きましたが、「お彼岸」とは読みの通り「彼の岸」向こう岸」です。どこの向こう側かと言えば、我々が今住んでいる「此の世界」の向こう岸です。そして、我々の住む世界は、娑婆(シャバ)忍土と訳されます(言い苦しみの世界です。そして、苦しみが解放された世界が涅槃(ニルヴァーナ)と言います、ここが向こう岸つまり彼岸です。お釈迦様の教えでは「一切衆生悉有仏性」即ち、



自分が幸せに生きています。姿を故人に見て貰え

私は、個人的には「ご先祖様に喜んで貰う事」これが供養だと思っ

敬意を失った現代

「家」の定義が益々小さくなっています。昔は、同居する祖父母から「ありがとうとごめんなさい」

全ての人が仏様なんだと説いています。ここが、キリスト教などの一神教と大きく異なる所です。

亡くなったから偉くなつた訳ではありません。故人との

「家」の定義が益々小さくなっています。昔は、同居する祖父母から「ありがとうとごめんなさい」

れば、それが一番ご先祖様が喜んでくれる事だと思えますし、これが一番の供養だと思えます。

定例本曜坐禅会

毎週木曜日 午後八時より

当山本堂にて

一炷(約四分)坐禅をして、仏教や禅の著述に関する話(約二十分)。今はインド仏教の「釈迦の基本的認識」。

- 令和七年 浄国寺予定
四月二十九日(火) 午後一時
松本喜三郎 墓前祭
喜三郎翁 追憶供養
谷汲観音供養
七月三日(木) 午前十一時
施餓鬼会(盆法要)
お盆壇信徒先祖総供養
十一月九日(日) 午後五時
「うま ぐんぜん」
仏教講演会
併設企画「お寺でジャズ」七時
鈴木良雄 (b) & The blend

縁(関係性)に対する感謝と故人の生き様への敬意です。近年、他者に対する敬意が薄れているように思えてなりません。

身辺雑記

私が運営している高平幼稚園が、認定こども園に移行して丸五年が過ぎた。「失われた三十年」と言うが、この五年ほどで愈々顕著になった。収入や将来は不安なのに、物価は際限なく上がる。政府は、女性の就労支援を少子化対策と呼ぶが、将来が見えないのに結婚、出産に向かう訳はなく、子どもが居る家庭の子育て支援にはなっても、少子化に歯止めはかからない。